

地域	番号	月日	場所	テーマ	参加者からの意見、提言内容	回答等	回答後の対応又は現時点の進捗状況等(12月末現在)
鳳来南部	1	11月10日	黄柳川小学校体育館	地域自治区制度について	新城市が導入している地域自治区制度についてお尋ねします。地域自治区制度というのは、地域の課題を地域で解決する、これまで住んできた地域にこれからも安心して住み続ける、ということが私が考える地域自治区ではないかと思っています。高齢化と過疎化が進む中で、地域計画のタイトル「山良し田良し住むに良し」という、このどれをとっても現状を維持することが厳しい状況にあります。この地域自治区制度について、今後新城市がどういった形で進めようとしているのか、その辺のところをお尋ねしたいと思います。	地域自治区制度におきましては、地域計画の推進体制について各自自治区で検討していただき、それぞれの地区から提言をいただいています。地域性が違いますので、提言内容も一律ではありませんし、地域ごとの特徴が出ている状況です。耕作放棄地の課題や、高齢者の独居の方も増えていく状況にもあろうかと思えます。そういう状況の中で、この地域自治区制度をてこにして、地域課題を皆さんで解決に向けて知恵を絞り、なお一層支え合いを育て助け合う地域づくりが必要になってくると思います。そこには行政もサポートをしながら地域自治区制度が持続できるように考えていきたいと思っています。(市長)	左の回答等のとおりです。(市民協働部長)
鳳来南部	2	11月10日	黄柳川小学校体育館	地域自治区制度について	地域計画を進める上では、まず地域活動をする組織なり、グループなどの活動が一番大事だと思っていますが、それを拡大・活発化させるのは難しいというのが、今の私の思いです。そこをどのように進めていこうとしているのか、その辺も含めてお話いただければと思います。	南部地区、それから新城地区、中部地区など、それぞれで事情は違いますが、共通して必要だと思うのは、次の若い世代の意欲ある人に、しっかりとこの活動を繋いでいくことだと思っています。例えば、そこだけではありませんが、うまく進んできているし今後も進んでいきそうだなと思っている地域があります。東郷地区のような地域自治区制度に基づく活動の取り組みというのは、若い年代の方、子育て世代の方、それから区長さんを勧められた方を中心とする地域の事情をよく知っている方。この方々が、うまく連携を取ってやる気になっているという地域があります。そうした状況を地域自治区の連絡会で、ぜひ情報共有して、うまくいっている地域を参考にしていけることが一つポイントになるのかなと思っています。そのためにお手伝いできることは言っていたきたいですし、こちら色々と考えていきたいと思っています。(市長)	左の回答等のとおりです。(市民協働部長)
鳳来南部	3	11月10日	黄柳川小学校体育館	指定避難所について	現在指定避難場所として、山吉田では、黄柳川小学校と山吉田トレーニングセンター、旧黄柳野小学校の3ヶ所が指定されています。6月2日の水害の時に黄柳川が氾濫しそうになっていました。指定避難場所の黄柳川小学校と山吉田トレーニングセンターは、川のそばです。今回は500ミリという話でしたが、700、800ミリの大雨が降った場合、本当にこの川のそばの指定避難場所で大丈夫なのかなと思います。地震の時は大丈夫だと思いますが、水害の時にこういう場所で大丈夫かなという疑問点があります。旧黄柳野小学校が指定避難場所になっていますが、老朽化で雨漏りをすると、最終的には改修せずに取り壊していくという話も聞いていますが、ずつと使えるのかなと思っています。	川に近い避難所だけでいいのかというご指摘を受けましたので、例えば子ども園や林業センターなども運用面で考えていく必要があると思います。状況によっては地域に留まってもらう方がより安全なケースもありますので、その辺りの判断は区長さんをはじめ、地域の皆さんで間違がない判断をして行動をとってもらうことが必要になると思います。(市長)	左の回答等のとおりです。(総務部長)
鳳来南部	4	11月10日	黄柳川小学校体育館	指定避難所について	避難場所は市が開設しますよね。市が開設するとき、どのくらい前から開設するのかということ、市は何をどのくらい持ってきてくれるのか。人は1日に3Lの水が必要だと言われています。寒いときは毛布も必要です。こういうものを市は用意してくれるのかなというのが疑問です。	今年6月2日は500ミリ降りました。新城市は1年間の降雨量が2000から2500ミリなので、それが1日2日で500ミリ降ったというのは今だかつてない状況でした。黄柳川についても担当から「何とか持ちこたえられる。」という報告でしたので、そのまま維持をさせていただいたという状況でした。地震の場合、風水害の場合と避難所を分けると、地域の人々がどこへ行ったらいかが分からなくなってしまうので出来るだけ同じ場所がいいと思います。(総務部長)	左の回答等のとおりです。(総務部長)
鳳来南部	5	11月10日	黄柳川小学校体育館	災害時の情報提供について	6月2日の水害の時に通行止めになっている場所がありました。こういうことは災害対策本部には逐一情報が入っていると思います。道路損壊状況をリアルタイムでホームページ等に出していただきたいと思っています。	備蓄についてですが、鳳来については各学校に分散備蓄をするようにしてあります。鳳来地区は、新しく出来ました防災倉庫に備蓄品を貯めてあります。また、対策本部が持っていくということですが、風水害や山崩れ、地震の場合にたどり着けないことがありますので、家庭内で3日間程度の備蓄をお願いさせていただいています。台風の場合は、できるだけ毛布や食料もお持ちいただくような放送をさせていただいています。地震の場合は、プッシュ型と言って国から県を通じて一方的に物資を送ってくるシステムになっています。とにかく3日間耐える必要があります。ですので、市としては3日間対応できるだけの備蓄品を用意していくという計画で進めています。(総務部長)	左の回答等のとおりです。(総務部長)
鳳来南部	6	11月10日	黄柳川小学校体育館	河床の浚渫(しゅんせつ)について(川底の堆積土砂の撤去)	6月2日の豪雨では、山吉田区内でも多くの災害が発生しました。特に河川の護岸の崩壊が多く見られました。また支流ではありませんけれども阿寺川で多く護岸が破壊されました。土砂によって河床が高くなったところも多く見られます。今後また豪雨が発生した場合に、今の現状ではさらに多くの災害が発生するのではないかと心配しています。早急に河床の浚渫をしていただいて、護岸を復旧していただけるように、国や県に働きかけていただきますよう、お願いします。	道路河川等の被害について、市の作業班で対応できない大きな災害で、国の財政支援を受ける必要があるものにつきましては、10月の中旬に、国の災害査定が完了しましたので、順次工事を発注し進めてまいります。阿寺地区の通行止めについては、11月6日から3月の中旬まで、復旧工事の実施をしていただいております。通行止め解除に向けて対応いただいている状況です。浚渫の関係について、東竹ノ輪川の護岸工事につきましては12月6日に工事の発注を予定しています。河川の浚渫の必要性ですが、新戸川につきましては令和3年度に、また黄柳川につきましては平成29年度に土砂の撤去を行っていますが、今回の豪雨災害もありましたし、十分ではないところも多々あると思いますので、具体的な箇所等も地元の方からご指摘いただきながら、計画的な浚渫に努めてまいりたいと考えています。(市長)	災害査定後の公共土木施設災害復旧工事につきましては、12月末時点までに、31件の工事を発注しました。今後も引き続き早期復旧に向けて努力してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。(建設部長)
鳳来南部	7	11月10日	黄柳川小学校体育館	阿寺の七滝への道路の災害について	阿寺の土石流の件です。阿寺の七滝は、鳳来地区では誇れる観光地です。今嵐山側からは阿寺の七滝に行けます。看板としては、阿寺の七滝までは行けますという県の看板と、行けないという観光課の看板が二つ並んでおり、とりあえず駐車場まで行くことができます。ここまで行くと崩落のため通行できないという観光課の看板が立っており、七滝を見ることができません。なぜ復旧ができないのか疑問に思っていますので教えてください。またトイレが未だに利用できないのはなぜか。私としては観光地としての機能が果たせていないように思いますので、利用できない理由をお話していただくとありがたいと思いますし、早期復旧をしていただきたいと思っています。	阿寺の七滝ですが、3月15日の県道の開通に向けて、土砂の撤去をしているところです。今現在七郷一色の方から下って来られてもトイレが使えないという状況です。観光に来ていただいても観光客に不便をかけてしまうということで、県道の開通に合わせて、トイレの方も使えるようにさせていただき、また遊歩道の方も3月15日以降にはお客様をお迎え出来るように、準備をしているところです。(産業振興部長)	12月15日に遊歩道の通行止めは解除しています。トイレの復旧については、電気の復旧ができ次第になります。(産業振興部長)
鳳来南部	8	11月10日	黄柳川小学校体育館	全国大会出場者の横断幕について	黄柳川小学校の5年生の女子児童が、5年生の部の100メートル走で県大会を制し、全国大会に出場し、見事に優勝しました。地域としてはこれを称えるつもりで横断幕を正門の東側に掲げましたが、その前に市の方に横断幕を掲げてもらえないかというお話をしたところ、市の方の回答としては、前例がないということ、また個人の名が入っているからということ、要望する人が市内にも大勢いるということで却下されました。新聞報道では市長さんのところに報告に行くと報道されていますが、私としては多くの人に知ってもらうためには、こうしたことをしてもらいたいんじゃないかと思っています。少ない子供たちの中で、こんな素晴らしい子が出てきたんだから、やはり大勢の市民に知ってもらうようにしていただけないかなと思います。市長さんどのようにお考えになるのか、お伺いしたいと思います。	横断幕についてですが、市役所庁舎に横断幕を掲げるには、一定の基準のようなものを考えないと難しいと思います。市内でスポーツで活躍している方、空手の全国大会で優勝した高校生の子などいますので、個人的な気持ちとしては本当に考えてあげたいという思いはあります。すぐにやりますとは言えませんが、ご意見いただきましたので一度考えさせていただきます。(市長)	スポーツ、文化、福祉等様々な分野で全国大会に出場または優秀な成績を収めた場合など、その活躍を大勢の方に知っていただくことは大切だと思います。現在は、激励会や報告会の開催、報道機関への情報提供等で周知を図っています。市が横断幕等を作製して市役所庁舎に掲示することができる規則や基準は現在設けていませんので、直ちに作製、掲示することは難しいですが、地区や関係団体等で横断幕を作製する場合(作製した場合)で、市役所庁舎に掲示を希望する場合、担当課に相談していただき担当課で検討して掲示することが適当と判断すれば庁舎(第2駐車場の掲示場、東庁舎前等)に掲示することは可能です。今後もスポーツ、文化など様々な分野の全国大会等でご活躍する方は見えると思います。横断幕等の作製、掲示に関しては、他自治体の事例も参考にしながら検討したいと考えています。(教育部長)
鳳来南部	9	11月10日	黄柳川小学校体育館	河床の浚渫(しゅんせつ)について(川底の堆積土砂の撤去)	多利野地区も毎年のように浚渫の要望していますが、なかなか目を向けてもらえないので、一度確認をしていただいて、浚渫をしていただくようよろしくお願いいたします。	回答無し	河川の浚渫につきましては、地元からの要望を踏まえ、現場を確認するとともに、計画的な浚渫に努めてまいります。(建設部長)

地域	番号	月日	場所	テーマ	参加者からの意見、提言内容	回答等	回答後の対応又は現時点の進捗状況等(12月末現在)
鳳来南部	10	11月10日	黄柳川小学校体育館	悪臭問題について	昨年度の意見交換会後、市の環境政策課から年度始めに業者を訪問するという情報をいただいたので、山吉田の区会に諮って、地域の悪臭調査の協力をお願いしました。1月20日から2月8日までの期間に、地域の24人の方に協力いただき、有効な調査データ1103件を集めることができました。そのデータを地図上に表示して時間ごとの変化がわかるようにし、環境政策課に提出しました。環境政策課からは、10月10日に、鳳来南部畜産施設立ち入り検査報告書として、6ページ、約6200文字の報告書をいただきました。環境政策課と愛知県設楽事務所の関係者の方々には、非常に充実した報告書を作ってください感謝申し上げます。報告書によると、7月24日、9月4日、28日、29日に四つの事業所で調査が行われ、鶏舎、豚舎、汚水処理槽、コンポストなどの施設には問題は見当たらなかった、また、処理方法も適切であったと記されていました。施設の前を通る時に匂いを感じることは仕方がないとしても、住宅まで匂いが飛び、この匂いの中で食事をするのはきつと感じるような匂いが発生する地域もあるそうです。鳳来南部地域としてこの問題を市と協力して解決する試みが初めてだと思っておりますので、まず一歩目を踏み出すことができたと考えています。各事業者も、地域との対話を望んでいると報告書に記されており、今後は事業者と地域が市と協力して対話を進め、生活と地域産業の両立を目指す方向で話が進むことに期待しております。長年にわたって地域住民が耐えてきた悪臭の問題であり、これまで手付かずであった問題です。一朝一夕に解決するのではないと思っております。市におかれましては引き続き協力をお願いしたいと思います。	今年の1月から2月にかけての臭気の調査にご協力いただきましたこと、本当にありがたく思っています。感謝申し上げます。その調査結果によりまして、臭気を感じる場所が判明しましたので、市の環境政策課と県の機関と一緒に、事業所の立ち入り検査、調査もすることができました。事業者の方も、関係する地域の方と関わりを持つことを考えていただいておりますので、今後においても、臭気の状態等地域の方に確認させていただきながら、市の環境政策課も一緒に、臭気が悪化しないようにしっかりと注意をして、情報把握に努めてまいるとともに、一緒にできることを考えていきたいと思っておりますので、情報提供をよろしくお願ひします。(市長)	まずは、地域協議会の場などで、市と関係機関が実施した立入検査の報告説明と地域の意見をお聞きする場を設けるよう調整を図ってまいります。(市民協働部長)
鳳来南部	11	11月10日	黄柳川小学校体育館	吉川峠の造成工事について	吉川峠ですけど、今業者が、土を埋めています。この辺の人はみんな知っているとありますが、市でどの程度把握しているかを教えていただきたいと思っております。今年の6月2日の豪雨ですぐ土石流が出て、通行止めになった所です。そのすぐ下で、多分、昔田んぼで今山ですけど、そこを埋め立ててます。それを市が許可したんだか、県が許可したんだか、どうい話になったのか、その辺を教えてください。山を埋め立てています。造成工事という看板が立っています。それと交通ですけど、ダンプが何台も狭い道路に入ってきます。その辺の道路の交通事情、そういうことをご指導いただきたいということをお願いすると、その辺を市の方の考え方はどうなっているか教えてください。	現場の方を把握できていません。今ご指摘いただきましたので、しっかりと確認してご報告をさせていただきますと思います。(建設部長)	本件に関しては、11月7日に現地調査を行い、新城市土地開発指導要綱に基づき事業者へ事業計画書の提出を求めました。11月10日に提出がありました。5,619㎡の土地整備という内容で、近隣関係者への説明状況を明らかにする書類の添付がなかったため不備として取り扱い、再提出を求めています。11月29日に再提出があり、隣地地権者への説明を行っていることは確認できましたが、地元区長への説明を求める予定です。(建設部長)
鳳来南部	12	11月10日	黄柳川小学校体育館	吉川峠の造成工事について	6月2日の大雨で、あれだけの土石流が出て道路が通行止めになった時に、そのすぐ下であんな工事をやると、みんな大丈夫かなって不安の人が多いいと思います。一度、市の方にも把握していただいて、ご指導いただいて、どういった工事をするのかということをお知らせしていただきたいと思っております。	回答無し	同上
鳳来南部	13	11月10日	黄柳川小学校体育館	旧黄柳野小学校について	現在433世帯あり、来年多利野と合併することになっています。現在、黄柳野地区の小学生は0人で非常に将来の不安が大きいです。UターンもUターンも両方も難しいのではないかと思います。今いる高齢者が、元気で活発に動いて交流することで、それを見た人たちが、いい所だと言って来てくれないかなと思っております。そのために廃校になった黄柳野小学校を活用できないか。いろんな取り組みをして地域を活性化したいと思います。市のスタンスは、聞くところによると雨漏りしても対応しない。古びていくのを待つ。でも例えば地域が活用したいと言えば、市はいろんな対応してくれるんじゃないかという期待もあります。今後、個人的には小学校を活用したいと思っておりますが、その場合に、使用料の優遇措置が取れないかというようなことを、今期待しています。同時に校舎が老朽化して修繕が必要な場合には、ちゃんとこれを直していただきたいと思っております。この点について1点お聞きしたいです。	旧黄柳野小学校は、今、東三河ドローンリバー推進協議会というドローンを活用して地域課題の解決を中心に考える、豊川市と新城市と連携して取り組んでいる協議会と賃借契約を交わして、共同の研究や実証実験の場所として活用しています。将来的に、旧黄柳野小学校につきましては、老朽化が進んでいきますので、市の公共施設の個別施設計画の中で廃止をするという方針で位置付けています。平成28年から30年間で30%の施設の床面積を削減していくという目標を掲げておまして、旧黄柳野小学校については廃止の方向で位置付けています。今ドローンリバー推進協議会で施設を活用いただいておりますが、緊急時の避難所という利用以外に第三者に貸し出すことが出来ない契約をしていますので、緊急避難所という以外の校舎の利用というのは考えられないかなと思っております。例えば、地域のイベントなどで、一時的にグラウンドを使用したいという要望がありましたら協議会と調整をして使用することは可能であると思っております。そうした時にはご相談いただければと思います。(市長)	左の回答等のとおりです。(企画部長)
鳳来南部	14	11月10日	黄柳川小学校体育館	旧黄柳野小学校について	1981年に校舎ができて、約30年使用して廃校になりました。その間、地域の住民は、運動会や学芸会、或いはふるさと祭りなどで、子供たちと一緒に地域住民が五平餅を作って一緒に食べたりと非常に思い出のある学校です。ですから、黄柳野の住民にとっては、黄柳野小学校は地域の宝です。地域の宝をそう簡単に廃止しますと、修繕もせずにはおぼつかしにしますというのは余りにも地域の宝を軽視しているんじゃないですか。地域の人たちが一生懸命そこを舞台にして交流したいという場合には、もう少し違う見方があるんじゃないかと思っておりますがいかがでしょうか。	この黄柳野旧小学校の地区だけではなく他地域の小学校、地区においても同様の考えがある方も多くいらっしゃることも現実です。その上でやはり今、どうしても小学校、また中学校もそうですが、学校教育に必要な施設、教育施設を維持管理していくためにも、その他の市の管理する公共施設を維持し、管理していくためにも、将来に向けての維持管理費を縮減をしていかないと立ち行かないものですから、検討に検討を重ねた結果、市の方針としては、いずれは施設を廃止するという考えになりました。これは地域の皆さんにご理解をいただく必要があるかなと思っております。気持ちとして仰っていただいたことは理解できますし、受けとめますので、例えば先ほどもしも言いましたがグラウンドで地域のイベントをやりたい時には、活用することも可能かと思っておりますので、利用の計画などがありましたらご相談いただきたいと思います。(市長)	左の回答等のとおりです。(企画部長)
鳳来南部	15	11月10日	黄柳川小学校体育館	市民病院の展望について	病院に関して、新城市市民病院は非常に頼りになる病院ですが、産婦人科の産科がなくなったという話を聞きました。新城市市民病院の今後の発展というか充実について、医療内容とか、或いは人材とか、その辺で10年20年後にどのような展望があるかということをお聞かせいただけたらと思っております。	現状、診療科によっては常勤の先生が不在の診療科もあります。しかし令和4年度から整形外科の常勤医師、泌尿器科の常勤医師も確保することができました。そうした診療科での診療が可能になったことと、手術ができること、入院ができること、これはそうした疾患をお持ちの方の安心に繋がったのと同時に、病院の経営改善にも本場に大きな効果が出ています。救急につきましては、総合診療科の10名の先生がいますが、この体制を維持していく必要がありますので、しっかりと堅持していくことと、さらに医師の招聘も粘り強く進めてやっていきます。市民病院の建物も一番最初に立てた建物等が41年になりますので、施設の老朽化も課題です。病院のあり方の検討をして、今後の方向性を決めていかなければならない時期を迎えています。北部医療圏としてこの地域が必要とする医療、必要な診療体制をしっかりと見極める必要があります。それと併せて、病院建設は多額の建設費用がかかります。仮に10年後を想定しますと、今4万3000人の人口が推計では3万6000人から3万7000人ぐらいに減少します。その上でも市の一般会計から、病院会計にどれだけ繰り入れられるか。その財政的な裏付けをしっかりと踏まえた上で、適正規模の病院のあり方を考えなければと思っております。今後の新しい病院についてもしっかりと責任を持って考えて、この地域の医療、福祉の充実に取り組んでいきたいと思っております。救急につきましては、今、管内の救急車の病院に入る第一報の6割近くは受け入れができています。ただ循環器系の救急の疾患には南部医療圏、豊川や豊橋市民病院と連携をしていくことが欠かせませんので、豊川豊橋の基幹病院との連携の中で、救急の安全体制をしっかりと堅持していくことが必要だと思っております。(市長)	左の回答等のとおりです。(経営管理部長)

R5 鳳来南部 地域意見交換会

11月10日黄柳川小学校

地域	番号	月日	場所	テーマ	参加者からの意見、提言内容	回答等	回答後の対応又は現時点の進捗状況等(12月末現在)
鳳来南部	16	11月10日	黄柳川小学校体育館	太陽光パネルの問題について	<p>新聞紙面によりますと、設楽原で太陽光パネルの問題が出て、その計画した事業者に対して、新城市は面談を申し入れた。しかしながら、地元的地権者との話し合いができていないから延期すると。こういう報道を見て心底がつくりしました。</p> <p>新城市は、観光によるまちづくりとか史跡の保存といったことに大変力を注いでいる町であるはず。ならばなぜそういう計画が、新城市の大事な史跡の場所に持ち上がったときに、真っ先に事業者に対して、計画は撤回して欲しいと話ができないのか。その辺に新城市としての、行政としても、この筋の通った姿勢というのが見えない。</p> <p>行政としては、地権者云々という前に、計画の事業者に対して、撤回中止を申し入れるべきではないかと思えます。安直な用地の買い上げとか、誰でも分かるような解決策ではなくて、もう少し知恵を絞った解決策が望まれるんじゃないか。</p> <p>これは、名古屋にわずか数便のバスを走らせて、乗客も数えるほど。年間3000万から4000万毎年赤字を垂れ流してる。それにもかかわらず止めないという、そういう何か筋の通った政策が見えてこないところとも通ずるものがあるのではないかなと思えます。特に回答は求めません。</p>	回答求めず。	—